
赤潮警報続報(ヘテロシグマアカシオ)

鹿児島県水産技術開発センター
平成31年3月4日

鹿児島湾赤潮警報 No. 1 - 2

鹿児島湾奥部でヘテロシグマアカシオが赤潮を形成しており、引き続き嚴重注意が必要です。

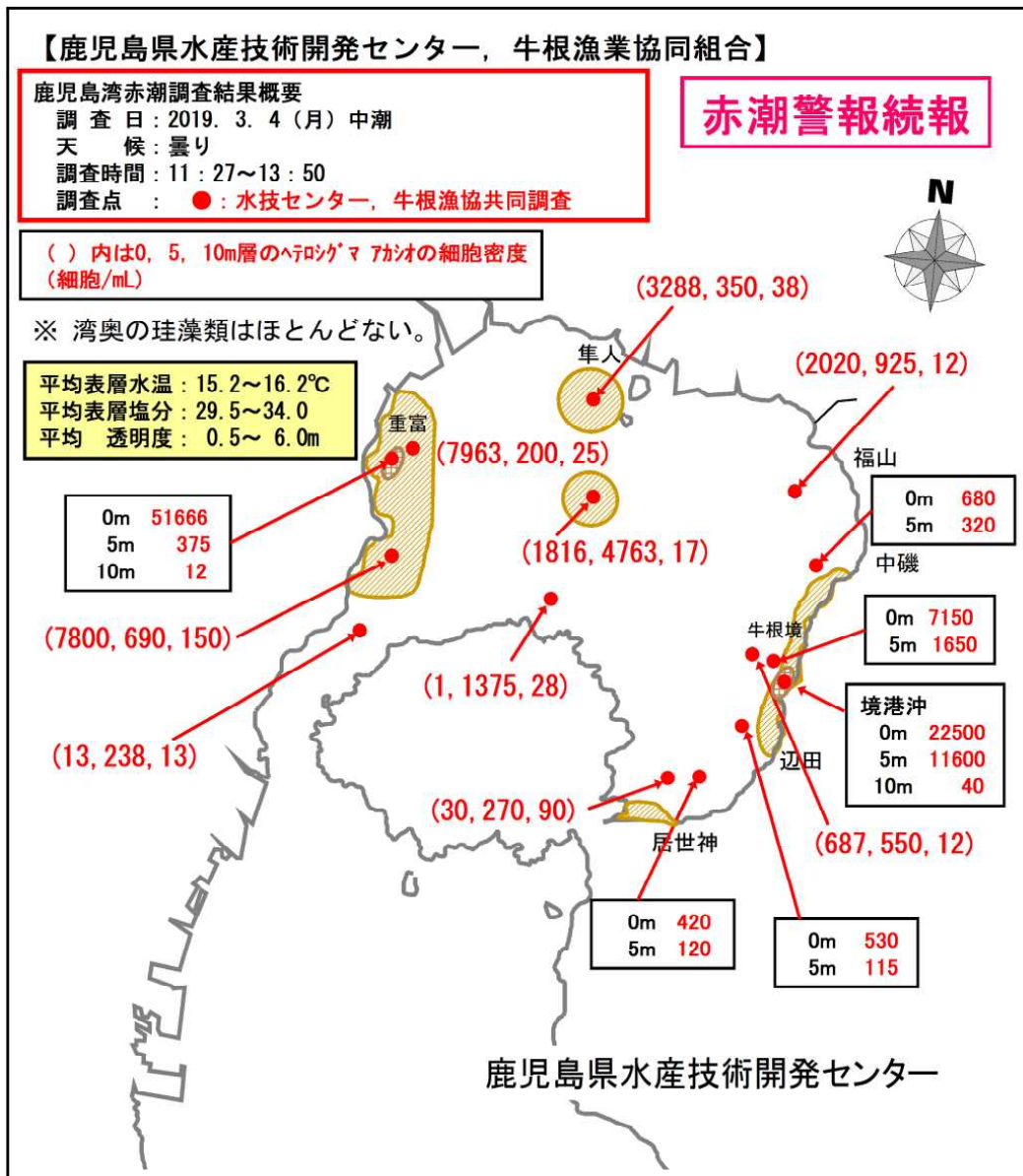
[1] 3月4日の調査結果

主に始良市重富沖～鹿児島市吉野町竜ヶ水沖や、垂水市牛根の中磯沖～辺田沖において着色域が確認され、最高細胞密度は、始良市白浜沖で51,666細胞/mL(0m層)でした。また、牛根境港沖でも22,500細胞/mL(0層)確認しました。

[2] 今後の赤潮発生の予想

本種は、日中は表層に集積し、夜間は全層に拡散する傾向があります。湾奥に競合種である珪藻類がほとんどないことや、降雨による栄養塩の供給が予想されること等から、細胞密度が更に増加し赤潮が拡大する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、検鏡により細胞密度を把握し、海水の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、餌止めを継続するなど十分な対策をお願いします。



※ヘテロシグマアカシオの特徴

- ・適水温15-25℃
- ・適塩分はきわめて広い。
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ類で10万細胞/mL前後、カンパチで3万細胞/mL前後。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

